

平成27年度関西広域応援訓練（図上訓練）の開催結果について

平成 28 年 5 月 27 日
関西広域連合広域防災局

1. 訓練目的

- (1) 「関西広域応援・受援実施要綱」に定める広域応援・受援活動の手続きや方法の確認と課題の抽出
- (2) 関西広域連合広域防災局、構成団体、連携県、防災関係機関の相互の連携強化と対応能力の向上
- (3) 関西広域応援・受援調整支援システム（暫定版）を使った連絡調整の検証

2. 訓練概要

(1) 訓練日時

平成 28 年 2 月 3 日（水）9:30～17:00

(2) 訓練想定

京都府南部を震源とする直下型大規模地震の被害想定
・強い揺れにより京都市を中心に甚大な被害が発生し、関西広域連合及び関西圏域の各府縣市は京都府及び京都市に対し広域応援・受援活動を実施する。

(3) 実施方法

- ① 関西広域連合広域防災局が中心となって、他の構成団体・連携県との協力により京都府災害対策本部と京都市災害対策本部を広域応援する、ロールプレイング方式の状況付与型図上訓練を実施。
- ② 発災から概ね 3 日目までの第 1 フェーズを午前、4 日目以降の第 2 フェーズを午後に分けたシナリオ。
- ③ 参加機関が災害対策（支援）本部を設置する各事務所において、通信により応援・受援を要請・手配するホームステーション方式で実施。
- ④ 応援府縣市は、自府縣市に災害対策支援本部を設置するとともに、緊急派遣チーム（各府縣市 1～2 名）を被災府市庁に派遣。
- ⑤ さらに、応援府縣市は関西広域連合災害対策本部事務局に事務局要員を派遣。
- ⑥ また、京都府庁に現地支援本部を、京都市庁に現地連絡所を立ち上げ、広域連合と応援府縣市と連携の上、被災府市を応援。

(4) 訓練内容・方針

- ① 京都府および京都市における災害対応、広域応援・受援をメインとする訓練
- ② 「救援物資の供給」を軸とした応援・受援の訓練
関西広域連合及び近畿 2 府 7 県での広域応援の中心となる救援物資の供給と、それに関連する各種事項の調整も併せたシナリオで、被災地からの要請に基づき、物資が実際に避難所等へ届くまでの調整過程を確認
- ③ 関西広域連合の大規模広域災害対応の取組みに配慮した訓練
 - ア 関西広域応援・受援実施要綱の充実に向けた訓練
 - イ 緊急物資円滑供給システム構築に向けた訓練（救援物資の輸配送・調達確保）
 - ウ 関西広域防災情報システム構築に向けた訓練
応援・受援調整支援システム（体制・被害状況共有機能、応援・受援調整管理機

能)の検証

3. 参加機関 (23 機関約 100 名)

- ・ 関西広域連合、京都府、京都市
- ・ 滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県、福井県、三重県、大阪市、堺市、神戸市
- ・ 九州地方知事会、関東九都県市
- ・ 国土交通省近畿運輸局
- ・ 京都府トラック協会、京都倉庫協会、ヤマト運輸株式会社、佐川急便株式会社、京都生活協同組合



《訓練開会式 (各府県市庁舎中継)》



《関西広域連合災害対策本部》



《京都府災害対策本部》



《京都府災害対策本部内物資搬送調整》
(京都府トラック協会、京都倉庫協会)



《京都府災害対策本部内現地支援本部》



《京都市災害対策本部》